

平成 27 年 11 月 14 日

P T A 第 6 回運営委員会

あしたのあさひ

～P T アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

こんにちは。今年度の学校に行こう週間は、11月5日(木)に授業公開を、6日(金)に授業及び部活動公開を行い、16名の方に来て、見ていただくことができました。

さらに、11月7日(土)は旭高校体験デーとして、中学生に授業と部活動を体験してもらいました。同時に行った学校説明会には保護者の方も参加していただき、計246名に来校していただきました。体験授業で、高校で学ぶ楽しさを、部活動体験では高校生と一緒に活動したことで、旭高校の良さを実感してもらえたと思います。生徒が中心となって行った学校説明会で、生徒は旭高校の様子をよくとらえた話をしてくれました。多くの中学生が旭高校を理解し、旭を目指してくれることを期待しています。「明日の旭」の仲間です。

生徒の活動状況

【ボランティア活動】

- 川井地区防災訓練(11月8日(日))が川井小学校で行われ、旭高校の生徒9名がボランティア参加しました。断水を想定し、生活用水確保のためプールの水を汲みだしました。また、豚汁の配付と食器の回収を行うなど、雨天で予定を縮小しましたが、地域の方に改めて高校生の力を感じてもらえることができました。
- 学校へ行こう週間に先立ち、70名のボランティアの生徒が通学路の清掃活動を行いました。先日の地域貢献による清掃活動がタウンニュースでも取り上げられるなど、定着してきました。
- 学校説明会のなかで、ボランティア活動が学校の特色であると紹介してくれた生徒がいました。旭区役所も旭高校の取組をしっかりと見てくれています。

【駅伝大会】

- 11月11日(水)の放課後、中庭にスタートの号砲が響きました。5人でタスキをつなぐ校内駅伝大会に男子30チーム、女子11チームの参加に加え、応援する生徒がたくさんいたことから、大いに盛り上がった大会になりました。
- 男子はサッカー部、女子はバスケットボール部のメンバーで組んだチームが優勝しました。男子は野球部員が区間タイ記録を、女子はバスケットボール部員が区間新記録を出すなど、レベルが高く、体力の養成を学校目標にしている旭高校らしい大会でした。

学校の取組

【人権講演会】

- 講師に元プロ野球(巨人、中日)選手で、また、慶応義塾大学野球部を東京六大学野球で優勝に導かれた監督である、江藤省三氏をお招きしました。
- 11月5日(木)に、「部活動内におけるいじめ防止」というテーマで、全校生徒に、次のようなお話をいただきました。
- スポーツをとおして仲間と喜び、人格をつくっていく。
- 勉強と部活動はともに100%だして本物になる。勉強でやった工夫・努力はスポーツの練習に活かせる。一流になる選手は何に対しても手を抜かず、徹底してやる。野球のイチロー選手は必ず最後まで残って練習を続けていた。いま、メジャーの選手からどんな練習をしているのか必ず聞かれる。
- 素直な気持ちでいれば技術は伸びる。気持ちが止まると技術も止まる。これこそ、「心技体」。トップに立てばやってきたことに対して誇りを持てる。トップになれない人は口ばかり。
- 3つの言葉を贈る。
 - 1 「練習は不可能を可能にする」

みんなチャンスは同じ。言われたことだけでなく、頭で考えて行動する。壁にぶつかったとき基本に戻れるか。乗り越えたとき、コツをつかんだと言える。
 - 2 「フェアプレイの精神」

相手をたたえ、思いやる気持ちを持つ。
 - 3 「同じ釜の飯を食った仲間」

チームメイトを大切にする。旭の仲間と切磋琢磨。そんな中で、いじめをしていてどうする。社会に出て顔を合わせられない。旭高校の同窓は大事な仲間。親友をつくってほしい。